キッズみんなの日記

1月号

新年明けましておめでとうございます。みなさんの楽しい日常を紹介しながら『キッズみんなの日記』もこれで三度目の新年を迎えました。みなさんの努力の賜ですね。今年も楽しく作文力を身につけられるよう編集に取り組んで参りますので、ご愛読よろしくお願い申し上げます。

早速、今年初掲載の優秀作品をご紹介します。最近は、話題がとても広がってきましたね。今月は、「けが」「家族の誕生日」「ペット」「家庭菜園」「社会科見学」「クリスマス」「学校行事」と、優秀作品だけでもこれだけ多くのバリエーションがありました。みなさんも文章や題材選びの上手さなど、優秀作品からヒントをもらってみるのもいいですね。

優秀作品紹介

★初級者の部★

『ばっしをした』

きのう、あたまのきずのばっしをしました。そんなにこわくなかったです。でも、いたかったです。もうけがをしないようにしたいです。（小二・KH君）

読んでいるほうが痛くなりそうです。さすが、H君、男の子ですね。怖くなかったものの、最後の一文に「けがはこりごり」という気持ちが上手に表現されています。

『ママのたん生日』

今日、ママのたん生日でした。ママは、昨日から気づいていました。でも、ママは自分のたん生日だから、ケーキを買いませんでした。

それで、家でねん土のケーキを作りました。ママがよろこんでくれたのでうれしかったです。（小三・TAさん）

自分の誕生日に贅沢をしないお母さんを思いやり、「粘土のケーキ」をプレゼントとは考えましたね。「自分の行動」で上手にお母さんへの愛情を表現した、とても良いお手本です。Aちゃんの優しさが伝わる温かい文章に仕上がりました。

★★中級者の部★★

『犬のシャンプー』

十一月の二十三日に犬のシャンプーに行きました。犬はシャンプーが苦手なのでとてもふるえていました。ちょっとかわいそうだと思ったけど、いいにおいになるならいいと思いました。

そして、一時間ぐらいたったらトムが出てきました。するとすごくきれいでいいにおいになっていました。終わって出てきたトムはかわいかったです。（小四・OHさん）

シャンプーが苦手だということを「震えていた」というトムの様子を書くことで上手に表現しましたね。また、「かわいそう」という感情と「いいにおいになるなら」という感情が入り交じり、揺れる思いを上手に表現していますね。お見事！

『いもほり』

十一月二十五日に家庭菜園でいもほりをしました。お父さんが土をほると、たくさんいもが出てきて、私がそれをバケツの中に入れました。小さいのがあったり、大きいのがあったりして、バケツいっぱいになりました。すごく重かったけど、とても大きいのがとれてうれしかったです。

家に帰って、お母さんが、おいもをふかしてくれたので食べました。熱くてとてもおいしかったです。（小四・HEさん）

Eちゃんの温かい家庭の雰囲気がよく伝わってきますね。土の中から出てくるお芋の描写がとても生き生きとしています！また、掘ったお芋の量をバケツの重さで上手に表現しています。愛情いっぱいの蒸かしたてのお芋は格別でしょうね。

『社会科見学』

十二月四日(金)に宮久保小学校四年生の社会科見学があった。

行き先は銚子と佐原だ。まず銚子では、漁港を見学して、犬吠埼でお弁当を食べた。

佐原ではいのうただたかさんのことを教えてもらった。記念館に入って、いのうただたかさんの地図を見て、本物そっくりでびっくりした。

佐原には、小野川という川があって、その川の上に橋があった。昔からその橋には面白い名前があった。その名前は、ジャージャー橋だ。水がジャージャーと出る橋だ。水は三十分に一回出ると言っていた。

楽しいところで社会科見学の終わりがきた。ぼくは、この社会科見学が一番楽しかった。（小四・KY君）

何を見たのか、何に驚いたのか、また、何に興味を持ったのかが、とてもわかりやすく表現されていますね。ジャージャー橋の話は読み手の興味も引きます。また、文末を「～だ。」「～である。」調にそろえることで、力強く、スッキリとした印象に仕上がっています！

★★★上級者の部★★★

『メリークリスマス』

昨日はクリスマスイブでした。私の家にもサンタさんが来て、クリスマスプレゼントを置きに来ました。

妹のとうかがたのんだのは、「くるりんモッチー」の機械です！ここなは、「シフォンのぬいぐるみ」がほしいようです。弟のゆうみは、車の何かがほしいそうです。

そして私は、「たいこの達人ドドンと二代目‼」がほしかったです。

朝起きてみたら、ちゃんと自分の欲しい物がとどいていて、大こうふんしてしまいました。早速やってみたら、すごくおもしろかったです。私は思いました、「大人達にはプレゼントは来ないのかな～？」って。（小五・AYさん）

クリスマスプレゼントに大はしゃぎするYちゃんと兄弟姉妹の姿が目に浮かぶようですね♪しかし、さすがは五年生、ふと冷静に考えたのですね(笑)大人までプレゼントを頼んでいたら、サンタさんは大忙しかもしれませんね。Yちゃんの素直で優しい疑問が印象的な微笑ましい文章でした！

『中止』

学校では「インフルエンザ」のため、色々な学校行事がなくなっています。学級閉鎖も多く出ています。

まず、行事は、バザーがなくなりました。すごく楽しみにしていたのに、なくなってしまい、バザーに出そうと思っていたものも、とっておいて損をしました。

次に、「夢ランド」という行事がなくなりました。「夢ランド」とは、学校のみんなで、学年別に、物の作り方を教えたり、めいろ、クイズショーなどで遊んで、景品をあげたりする行事です。こんなに楽しい行事がなくなって残念です。（小五・NH君）

「夢ランド」という行事が実にわかりやすく説明してありますね。お見事です。本当に楽しそうな行事だということがわかるだけに、H君のがっかりする気持ちに、思わず頷きたくなります。新型インフルエンザがうらめしい気さえしますね。

伊藤先生のおすすめ本

エルマーと16ぴきのりゅう

福音館書店

ルース・スタイルス・ガネット 作/ルース・クリスマン・ガネット 絵

ついに「エルマーのぼうけん」の完結編！りゅうをつかまえようと人間どもがやってきます！エルマーはりゅうの家族を救うため、りゅうの家にやってきます。心躍る結末がまっています！

★★中級者★★

ラモーナは豆台風

学研出版

ベヴァリー・クリアリー 作／松岡享子 訳

幼稚園に通うことになったラモーナは、もう赤ちゃん扱いはごめんだとばかりに大張り切り。ところが、初日から何一つ思い通りにはならず…。元気なラモーナに幼稚園も大騒ぎ！やんちゃな女の子の愉快な物語。

★★★上級者★★★

ベーグル・チームの作戦

岩波少年文庫

カニグズバーグ 作／松永ふみ子 翻訳

ママがぼくの野球チームの監督に、兄さんがコーチになったおかげで、ぼくのプライバシーはすっかり優害されてしまった。思春期の12才マークの目を通して、家族や友人との日常をユーモラスに描いた作品